

学校だより

翔 空

No. 12 平成24年 6月14日 (木)
郡山市立喜久田中学校長 大堀 昌弘

「翔空」の由来

校舎のシンボル壁画である「空へ」を受け、風光明媚なこの学舎から、希望に燃え、限りない空へ、力強く翔んでほしいという願いを込めて、翔空の碑ができた。

◇ よくがんばりました！サッカー部県大会出場決定！バドミントン部も善戦！◇

「今日は、天気が悪いです、みんなの調子はどうですか？大会参加にあたり、私からは3つお話しします。一つ目、ウォームアップをしっかり行うこと。二つ目、お互い声を掛け合い最後までがんばること。三つ目、最後の1分、1秒まであきらめないこと。とにかく、今日の目標は、2つ勝つことです。」(サッカー部とバドミントン部ともに同じことを話しました。)・・・6月13日出発式にて

サッカーについては、13日〔水〕朝9:30からの第一試合(対常葉中)は、何と最初の10分ほどで5:0と圧倒。後半も3点追加し、結局は8-0で勝利しました。内訳は、国分裕史くん3得点、佐久間哉瑠くん3得点、佐久間耐綺くん1得点、佐藤 匠くん1得点を入れました。前半に楽に5点が入ったので、試合の合間には、逆に、監督の三瓶先生からも気合いが入りました。「相手がどうであるが、力を抜くな。」「早めにボールをつないで前に出せ。」等々、どっちが勝っているのかわからない気合いの入れようでした。

次の第二試合は、対郡山二中戦。本校の選手も「郡山のチームとはやりたくないなあ。」などと試合の合間に話し合っていましたがいざ試合が始まると、本気モードに入り、一進一退の好ゲームとなりました。結果的には、前半はともに0点。後半に入ってから相手はまず1点を先取。その直後、本校が1点を取り、終了間際には相手の二中がさらに1点を追加するといった紙一重の試合内容でした。考えてみれば、ベスト4(県大会参加組)に残ったのはすべて郡山支部のチーム。これだけ郡山市内のサッカーは層が厚いのです。

正直、本校も惜敗こそしましたが、どこが優勝してもおかしくない状況なのだと思われ再認識しました。本校の生徒には、7月22日〔日〕から福島市で開催される県大会でぜひ決勝まで突き進んでほしいと今から期待しています。

バドミントン男子ダブルスに出た「渡邊拓也くん・齋藤竣輔くんペア」は、1回戦の川内中ペアとの対戦で2-0で勝利、2回戦鏡石中ペアとは0-2で惜敗。さらに、敗者復活戦では、須賀川三中ペアと対戦し2-0で勝利。次の対明健中ペアとは善戦するも一歩及ばず、0-2で惜敗となりました。

サッカー、バドミントンともに選手は精一杯の力を振り絞って最後まであきらめることなくがんばってくれました。大きな拍手を送りたいと思います。7月9日〔月〕には、全校生の前で表彰し、県大会出場を決めたサッカー部に対しては、エールを送るため激励会を開催したいと考えています。15年ぶりの市中体連大会での優勝、そして県大会へ駒を進めたその陰には、きっと絶え間ない努力があったに違いありません。県大会出場おめでとう。そして、全校生徒にも希望や勇気を与えてくれてありがとう。保護者の皆様も最後まで大きな声援ありがとうございました。相手校の3倍の声援でした。

〈サッカー部県大会出場までの軌跡〉

【市中体連大会】

対安積二中
3:0勝利
対緑ヶ丘中
1:1
*PK5:4勝利
対郡山五中
3-1勝利
対郡山三中
1-0勝利
対郡山六中
3-1勝利

【県中大会】

対常葉中(田村)
8-0
対郡山二中
1-2で惜敗
3位入賞!



目指せ県大会での優勝!

【英語のことわざ】*真理を突いている珠玉の言葉*

みなさんは、「蓼(たで)食う虫も好き好き」ということわざを知っているかと思います。英語にもそれに相当することわざがあります。

→ "There is no accounting for tastes."

"No accounting for tastes." と短く表現することもあります。

直訳: 趣味(好み)については、説明することができない。

読み方: 「ゼア イズ ノー アカウンティング フォー テイスツ」

この世の中には、いろんな人がいていろんな趣味、趣向、好みがあるものです。たまに、なんであのカップルがと思える男女がいることも事実です。(失礼しました!)